

全校集会 校長講話（9月7日）
テーマ：「自分を信じる力」を育てよう

皆さん、おはようございます。

2学期が始まってから2週間が経ちましたが、学校の生活リズムは戻ってきたでしょうか。今週からは、文化祭や体育大会に向けた学年やクラスでの練習が、いよいよ本格的に始まっていきますね。

これから行事に向かって、クラスの仲間と共に大きな目標に挑んでいく皆さんに、ぜひ知ってほしい言葉があります。

パナソニックという大きな会社を創り上げた松下幸之助さんが、ご自身の本の中で大切に紹介されている「人事を尽くして天命を待つ」という昔からの言葉です。

少し難しく感じるかもしれませんが、中学生の皆さんに分かりやすく伝えと、「上手くいくかどうかの結果や周りからの評価を心配して悩むより、今自分ができる精一杯の努力（人事）に集中しよう」ということです。

これから本格化する練習や準備を進める中で、思うようにいかない壁にぶつかることもあるでしょう。「失敗したらどうしよう」「本番で上手くいかなかったらどうしよう」と、まだ起きてもない未来の結果を恐れて不安になることもあるかもしれません。

でも、皆さんがよく口にする「自信」という言葉は、字の通り「自分を信じる」と書きます。

本当の「自信」とは、決して「絶対に成功する」と確信することではありません。

「結果がどうであれ、今自分にできる役割を精一杯果たしている自分」を信じること、これこそが、本当の意味での「自信」です。

- ・体育大会の練習で、今の自分に出せる精一杯の声を掛け合ってみる。
- ・文化祭の準備で、誰も気づかないような裏方の作業をひとつ丁寧に仕上げてみる。
- ・クラスの話し合いで、自分なりに必死に考えた意見を恐れずに伝えてみる。

結果だけを気にして立ち止まるのではなく、自分にできる目の前の努力を一生懸命に積み重ねていくプロセスこそが、皆さんの中に折れない強い「自信」を育てていきます。

正解のない問いに仲間と向き合い、汗を流して創りあげていく行事の過程には、皆さんを成長させるチャンスが溢れています。今自分にできる最善の行動を重ねていきましょう。

今日という一日も、二度と戻らないかけがえのない日常の大切な一ページです。

今日の前にある一つ一つのことに心を込め、自分自身をしっかりと信じて、みんなの力で最高に熱く、素晴らしい行事を創り上げていきましょう。

以上で、先生の話が終わります。